

第2回

BINDS 公開講座

オンライン開催

2023 9.29 Fri.
16:00~19:00



創薬に向けたゲノム－タンパク質情報解析と
RNA研究



上智大学 教授 近藤 次郎

「RNAをターゲットとした
創薬のための構造解析・分子デザイン技術」

東北大学 教授 木下 賢吾

「タンパク質科学者のための
個別化創薬に向けたゲノム情報の利活用入門」

下記URLまたはQRコードからお申し込みください

<https://www.binds-registration.info/regi/134>

参加費 無料

参加登録 要

申込締切 9月 28日



世話人



東京大学
教授 西山 真

注意事項

※開催日の前日までに視聴方法や注意事項等をご連絡いたします。
※視聴方法の転送不可（参加ご希望の方は個別にお申し込みください）。
※取得した個人情報は、参加者への事務連絡、統計分析等、本事業以外には使用いたしません。

お問い合わせ

創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム (BINDS)
生命科学・創薬研究支援基盤事業サポート班

assist@binds.jp

TEL: 03-5841-5167 / FAX: 03-5841-8031

binds.jp



こちらもチェック!
第3回公開講座
2023年10月6日

名古屋大学 横島聰先生／大阪大学 辻川和史先生

概要

日本医療研究開発機構（AMED）が実施する「生命科学・創薬研究支援基盤事業（BINDS）」では、創薬・ライフサイエンス研究を一層強力に推進することを目的として、昨年度にオンライン公開講座を開設しました。これは AMED-BINDS に参画する世界の第一線で活躍する研究者が自身の研究を詳しく紹介するもので、多く研究者等の参加をいただき、好評を博しました。今年度はさらにパワーアップしてこの企画を推進して参ります。創薬における主たるターゲットはタンパク質であるのは周知の事実ですが、タンパク質以外のターゲットとして RNA が注目されつつあります。第 2 回公開講座は、上智大学理工学部の近藤次郎教授と東北大学大学院情報科学研究科の木下賢吾教授に講師をお引き受けいただきました。近藤教授に RNA をターゲットとする創薬や RNA 分子をターゲットとする最新の研究を、そして木下教授には、大規模ゲノム情報がタンパク質研究にもたらす最先端の情報科学研究についてご紹介いただきます。本公開講座が、皆様の研究の今後のさらなる発展の一助となることを期待しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

善光 龍哉 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 創薬事業部／調査役

開会挨拶

近藤 次郎 上智大学 理工学部 物質生命理工学科／教授 BINDS 構造解析ユニット

RNA をターゲットとした創薬のための構造解析・分子デザイン技術

これまで、創薬のターゲットはタンパク質にほぼ限定されてきました。しかし最近になって、新しい創薬ターゲットとして遺伝情報の伝達に関わる RNA に注目が集まり始めています。また、医薬品側に目を向けてみれば、従来の低分子医薬品やタンパク質医薬品に加えて、アンチセンス RNA や mRNA ワクチンなどの核酸医薬品が登場してきています。

本講演では、「RNA ターゲット創薬」と「RNA 創薬」の現状と、これらを実現するために我々が BINDS 支援事業で行っている RNA の分子デザイン、結晶化、X線結晶解析の支援、さらには立体構造情報を活用した核酸医薬品のデザインの実例もご紹介します。

木下 賢吾 東北大学大学院情報科学研究科／教授 BINDS 発現・機能解析ユニット

タンパク質科学者のための個別化創薬に向けたゲノム情報の利活用入門

ヒトゲノム解析が進むにつれて、がんや難病で先行して利用されていたゲノム情報が創薬でも活発に活用されるようになってきた。一方で、創薬は古くからタンパク質科学の一分野として扱われており、ゲノム情報の利活用には一定の技術的なハードルが存在する状態である。そこで本公演では、日本でも 10 万人全ゲノム計画を始めとして一般住民の全ゲノム解析が急ピッチで進められている現状を踏まえて、元タンパク質情報科学者、現ゲノム情報科学者という立場で、現在行われている各の大規模ゲノム解析の状況を俯瞰しながら、タンパク質研究者向けの実用的なゲノム情報の利用法について解説し、日本の創薬におけるゲノム情報の利活用促進を目指す。

西山 真 東京大学大学院農学生命科学研究科／教授 BINDS 司令塔・調整機能活動サポート班

閉会挨拶

※プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。